

平成 24 年度 石垣市観光開発審議会

日時：平成 24 年 5 月 29 日（火）13:00～15:15

会場：大濱信泉記念館 2 階多目的ホール

会 議 録

1. 委嘱状交付

別紙名簿 14 名の委員へ委嘱。我喜屋隆委員は欠席。出席 13 名。

中山石垣市長、宜野座総務課長・豊田主任（沖縄県八重山事務所）、新城事務局長（石垣市観光協会、事務局（観光交流推進課））が出席。

2. 市長開会挨拶要旨

「委嘱させていただきました 14 名の委員のみなさまには 2 年間の任期となりますが、お力添えを頂きたい。来年、新空港が開港するが、この空港を起爆剤にして観光産業を伸ばしていきたい。平成 19 年頃までは右肩上がりの観光でしたが、近年は厳しい状況になっている。今後 100 万人の観光をハードルとして戦略的に取り組んでいきたい。今回、名桜大学の岩佐先生や沖縄じゃらんの山田社長にも委員になって頂いたので外部からの視点や専門的な見地からの意見をお願いしたい。1 次産業と観光のリンクも主要課題になってきているので、さまざまな立場からの活発な議論をお願いします。」

3. 審議会の概要説明

4. 会長、副会長の選任

会 長 宮平康弘（石垣市観光協会会長）

副会長 岩佐吉郎（名桜大学寄附講座教授）を選任。

○会長あいさつ

「観光基本計画は平成 22 年の 8 月に策定され、特に新石垣空港の開港や 10 年先の観光を見据えた課題の解決を描いています。平成 23 年度はこの審議会を開催できませんでしたので、1 年のブランクを置いて改めて発足したこの審議会に対して、委員のみなさまのご協力を頂きたい。」

5. 審議事項

（1）石垣市観光基本計画の推進について（意見交換）

委員発言要旨

岩佐副会長：1 昨年、アドバイザーとして観光基本計画策定にかかわりました。基本目標が 3 つ掲げた背景としては、これまで石垣市の発展を支えてきた石垣市の観光というものは、この次の 10 年にどう発展していくかと考えた時にその発展の仕方が変わってくるのではないかと思う。「みる旅」「する旅」から「来る旅発見・また来たくなる旅」の確立を目指しますなどの 3 つの基本目標を掲げているのはこれまでの魅力に加えた新しい魅力を加えていきたいと思いますというのが観光基本計画の狙いだと思っています。

昨年度の事務事業を見て1つ感じるのは、今まで取り組まれてきた継続事業が多い。

取り組みとして特徴的なのはイベントの関係があげられ評価していると思う。ただし、基本計画に掲げている新しい魅力という点から言えば、やり方も含めてもう少し工夫していく必要があるのかなあと思う。観光マーケティングの推進とか観光地経営システムの高度化などは取り組んでいかないといけない。観光誘致についても、新しい取り組みが必要だと思う。

吉村委員：観光所管の事務事業を先ほど説明があったが、商工振興課と連携した事業や第1次産業と連携した事業を進めている状況はある。観光と名前はつかないが、観光と係わる事業がある。例えば、一括交付金では11のプロジェクトがあるが、その中にもものづくりの事業や環境を保全していくかという事業、デイゴの再生など政策的に取り組もうとしている。また、観光客が利用する道路の植栽などの整備も予定しており県とも連携を図りたい。このような関連事業も今後改めて委員のみなさまには報告していきたい。

赤城委員：観光従事者に観光基本計画を知っているかと聞いたところ、認知されていない。今後、どのようにしてこの計画を広報、認知を行っていくのか？

事務局：本市のホームページで観光基本計画を掲載しているが、広報不足の点もあると思う。

赤城委員：策定された時シンポジウムも開催されたので、PRされていると思っていたが、今後も観光従事者が集まる機会をつくって欲しい。

宮平会長：観光協会と行政でそのような機会づくりや観光基本計画の認知度向上に取り組んでいきたい。

岩佐副会長：まさに毎年毎年の事業進捗をこの審議会の機会を通して意見交換するのは良いと考えます。

(観光地管理費について)

宮里委員：どの部分にどれくらいお金が使われているかなど、予算額が記載されていないので判断材料として記載して欲しい。

事務局：次回の資料作成からは予算面も記載したい。

辻野委員：資料を前もって頂きたいので、今後気をつけて欲しい。サッカーパークあかんまについて稼働率が低いなど厳しい意見もあるなど、そのあたりの内容も盛り込んだ資料にして欲しい。また、あかんまに宿泊施設機能をつけてはとの意見もあるし、施設の活用について議論できる資料を提供して欲しい。

前津委員：資料として、今年度、例えばサッカーパークあかんまではどのような活用予定があるかなどの事業計画や実施計画も入れて欲しい。

宮平会長：観光施設は観光には欠かせないものですので、その活用をしっかりと検討していきたい。

(団体負担金、助成金について)

委員長：補助金、助成金は年々減っているが、観光がリーディング産業と位置づけされているのであれば、予算についても検討を行って頂きたい。

(ダイビング誘致について)

園田委員：毎年、マリンダイビングフェアに出展しているが、年々補助金が減っているので検討して欲しい。世界2位のパラオとは接戦している。是非、観光関係者にも投票にご協力をお願いしたい。

(南の島の星まつりについて)

宮里委員：イベントポスターがでてくるのが遅い。チラシなどは早めにつくって告知しないと県外からの誘客につながりにくいので、工夫して欲しい。

事務局：早目に作成するようにしていきたい。

宮平会長：イベントが終わったら次年の開催日を発表するなど概要だけでも発表して欲しい。石垣島まつりはいい例になっている。

吉村委員：日程は早めに決める方向として、先にチラシを配るなど対応したい。

山田委員：ネットであれば、日程と概要だけわかればすぐにできる。ネットに情報を散らばらせるというのが重要。大きいイベントだとギリギリで決まっても人は来るし探してくるが、はじめてははじめようというイベントだと早めに日づけを発表した方がいい。年間を通じた楽しみ方をどう売るかについて、ライトダウンを例にすると1週間毎日やりますといったことが観光誘客につながると思う。どう考えますか。

事務局：実行委員会で検討したい。

委員長：市の方では空港での観光案内所について、どう考えますか？

事務局：大切な機能なので、財政課と調整したい。

吉村委員：財政との調整以前に現場サイドとの調整も図りたい。

奥平委員：バリアフリーの旅行需要は増えているが、ヘルパーさんを抱えきれていない。市とも連携しながら取り組んでいきたい。

(クルーズ船誘致について)

委員長：両替所機能をどうするかという課題をどう考えるか？

吉村委員：なかなか採算をとるのが難しい状況。新空港について、テナント業者のみなさんに何らかの協力をして頂くことになるのかなあと思う。検討していきたい。

前津委員：バス車両の不足は4月、10月にあった。国内旅行と重なって不足した状況になった。今後、他のバス会社とも連携を取り対応していきたい。

赤城委員：クルーズ船のターミナルビル、埠頭をきれいにして欲しい。

吉村委員：新港地区で整備が進んでいるが、まだ先のことになる。現ターミナルでは、物流と交錯して危険な状況もあるが、国際埠頭して兼用している。

(ギネス大BBQについて)

山田委員：ギネスのイベントは抜群の効果があったと思うが、そのスポットライトをどのように展開していくのかが見えてこない。これをつなげていかないともったいない。せっかくのステップがあったので商品開発など次のステップを行っては？

吉村委員：石垣牛のブランド推進という点から所管は農林水産部に変わっているが、商品化などの活用については仕掛けをつくっていききたい。商工振興課や商工会と連携したい。

(うたの日コンサートについて)

西表委員：ファッションやアニメと書いてある趣旨は？

事務局：石垣発の新しいカルチャーの発信として位置づけている。

辻野委員：感じるのは観光は各部門にまたがるので、庁内での連携を行って頂きたい。また、市民への啓発や意識づけをお願いしたい。

岩佐副会長：この審議会自体、市の観光基本計画の具体的な推進を図っていく組織になってくると思う。今日の資料は予算化された事務事業について記載されているが、取り組んでいない事業や予算化されなかった基本計画の施策も空欄でいいので掲載した資料について欲しい。また、観光交流推進課だけの事業でいいのか？他の部署との関連事業も調べて資料にして欲しい。また、新年度の事業はどのようにやるかをもう少し明確にした資料づくりを課題にして欲しい。

(一括交付金について)

宮里委員：64 事業中 27 事業が観光関連ということですが、国際定期便誘致事業について、広域観光ルートの見直しとあるが説明して欲しい。

事務局：これまでの八重山という括りの広域に台湾、特に東北部を加えた旅行商品をイメージしています。

前津委員：現空港の CIQ 施設から駐車場までの導線に雨よけや導線の案内表示がない。この対策を一括交付金で安全と利便性の向上を行えないか？

吉村委員：趣旨は十分理解します。案内板については、空港課と調整するなど努力したい。

浦内委員：商工会女性部でも女性部の目線での観光ツアーを考えているので、今日はいいい機会になった。

高木委員：教育旅行の体験プログラムの受け入れをしている。北部はじめ魅力のある場所がある。是非、田舎体験や自然体験をいろんな団体と連携して推進していきたい。

(2) 石垣市観光白書(仮)について(承認)

- ・名称 石垣市観光施策の年次レポート
- ・開始 平成 24 年度～

6. 挨拶 宜野座総務課長(沖縄県八重山事務所)

7. 閉会挨拶 岩佐副会長

8. 閉会